【総評】

◆評価機関総合コメント

大阪府に認定こども園3園と分園1園、保育所2園、子育て支援センターを展開する社会福祉法人向日葵福祉会が運営する保育所である。平成２５年に大阪市から公立保育所民間受託し、定期的な市の巡回訪問で連携し、適切な運営・書類整備等を行っている。子育て支援事業・清水地区子育てボランティアグループ・地域の防災会議への参加等を通して地域交流・地域連携に積極的に取り組み、インクルーシブ教育を実践し、地域に開かれた保育施設として機能できるよう取り組んでいる。乳児は育児担当制保育を取り入れ、食事・排泄・睡眠などの援助を同じ保育者が担当することで、情緒が安定し愛着関係が築けるよう取り組んでいる。幼児は異年齢保育を取り入れ、「異年齢ホーム活動表」に沿って毎日異年齢活動を実施し、年齢の違う子ども同士で交流できる機会づくりを行い、憧れ・思いやり・自信・挑戦する心等につなげている。中長期的事業計画・事業計画を策定し、業務分担表により組織と役割を明確にし、各種会議を定期的に実施する等、運営の安定・サービスの向上に計画的に取り組んでいる。新たにICTシステムを導入し、業務の効率化による保育の質向上と働きやすい環境作り、保護者との情報交換と情報発信につなげられるよう取り組んでいる。

◆特に評価の高い点

〇中長期的事業計画・事業計画・資金収支予算書に基づいた園運営に取り組み、設備の整備・職員体制の充実・人材育成等に反映している。人事考課・目標管理制度を整備し、階層別・職種別・テーマ別の研修計画をもとに外部研修・法人研修・園内研修を実施し、福利厚生の充実に努める等、職員の資質向上・働きやすい環境整備に取り組んでいる。

〇組織（業務分担）を整備し、職務分掌・クラス運営・委員会（リスクマネジメント・保育向上・サービス向上）と研修グループ（保育内容・安全衛生・資質向上・地域）の役割等を具体的に分かりやすく明示している。各種委員会・各種研修グループ・各種会議（職員会議・週案会議・保育献立会議等）を定期的に開催し、職員の情報共有と連携をはかり、保育サービスの向上に取り組んでいる。保育所専属の管理栄養士・看護師が常駐し、子どもの健康・安全管理や保護者支援を行う体制を整備している。

〇資質向上グループによる保育に関する内部監査、社会福祉施設運営自己点検・自己評価表による園評価、自己評価シートやセルフチェックリストによる職員の自己評価等で定期的に自己評価・振り返りを行う機会を持ち、第三者評価も定期的に（今回が2回目）受審し、保育の質向上に向け意欲的に取り組んでいる。

〇保育所は地域特性として防災意識の高い地域にあり、清水地区防災連合会に加入し、地域の防災会議に参加し、避難所として区や町会と役割確認し、地域に提供するための備蓄を整備する等、地域の防災対策や災害時対応の仕組みづくりに地域と連携して取り組んでいる。子育て支援事業等を通して地域交流に積極的に取り組み、インクルーシブ教育を実践するとともに、学校協議会・近隣小学校との連絡会、子育てボランティアグループ・食育推進ネットワーク等、多種の地域の関係機関と連携し、個々の子ども・保護者の状況に対応できるようこれらのネットワークを有効に活用している。

〇所庭には固定遊具・砂場が設置され、２階の広いテラスには人口芝生・すべり台・鉄棒等を設置し、天気の良い日には１日１回外遊びの時間を確保し、子どもがのびのびと遊べる環境である。外部講師によるサッカー遊びの時間も設けている。実のなる木を植樹し、プランターや畑での季節の花植え、野菜栽培や収穫体験、虫探し等、身近な自然とふれあえるよう取り組んでいる。警察署員による交通安全教室で交通ルールの話を聞き、実際に信号機・横断歩道の渡り方を体験するなど学ぶ機会を設け、散歩や公園に出かける際は交通ルールを確認し、社会的ルールや態度を身につけられるよう配慮している。

○各保育室はコーナー保育を取り入れ、生活や遊びに応じて棚や仕切りで分け、子どもが主体的に自由に玩具や教材を選んで遊べるよう環境を大切にしている。室内環境を定期的に見直し、子どもの発達や状況に応じて変更している。育児担当制保育・幼児異年齢保育・早朝延長保育・合同保育等を取り入れ、一日の連続性に配慮し、一人ひとりの生活リズムを尊重しゆとりを持って過ごせるよう援助している。幼児は活動ボードを活用し、時間を意識しながら見通しを持って子ども主体で活動できるよう工夫している。運動遊び・英語・制作活動・楽器遊び・泥んこ遊び・プール水遊び・感触遊び等、様々な表現活動が体験できる機会作りを行っている。

◆改善を求められる点

よく取り組まれており、大きく改善を求められる点はない。さらなる取り組みとして、下記の取り組みが望まれる。

○サービス向上委員会が設置されているので、保護者に対し利用者満足に関するアンケート調査を定期的に行い、アンケート結果を改善や向上につなげることが望まれる。

○人事考課制度・目標管理制度が整備されているので、キャリアパスフレームを整備する等、職員が将来の姿を描くことができる仕組み作りを期待する。

○現在実施している新入職者に対するOJT研修について、統一した指導ができるよう研修プログラムの作成と、実施記録の整備が望まれる。

◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価を受けることで、日々行っている様々な業務を再確認することが出来ました。取り組み方など、このまま進めてもいいと評価していただいたことに自信を持ち、今後も子どもたち、保護者の皆様、地域の方々に安心していただけるよう、保育所運営していきたいと思います。公設置民営の保育所である為、改善できるところと、難しいところがありますが、保護者アンケートの中の少数のご意見も真摯に受け止め課題として検討していきたいと思います。保護者の皆様のご理解、ご協力に感謝いたします。

◆第三者評価結果

・別紙「第三者評価結果」を参照